

## 平成21年度学校評価

### 北九州市立二島中学校

#### 21年度の学校評価から

学校の教育目標の具現化を目指し、重点課題解決に向けた具体的な方策に取り組んできました。以下は重点課題における具体的な方策に対する生徒・保護者アンケート及び学校自己評価の平均です。最高を4、最低を1とし、中央値を2.5で示しています。

NO.		生徒	保護	職員
1	○家庭学習の手引きを活用し、学年に応じた学習の方法などの資料作成に取り組み、家庭学習の手引きの改善に努める。	2.4	2.3	2.4
2	○定期考査や課題考査等において、課題を設定し、家庭学習の意欲を高め、達成度を確認する。	3	2.7	3.1
3	○節目の読書活動を通して、読書の習慣を身につけさせる。	2.5	2.1	1.8
4	○習熟の程度に応じた少人数指導を計画的に取り組む。	3.1	2.7	2.6
5	○各教科及び総合的な学習の時間等で、パソコンを活用した授業を計画的に実施する。	3.4	2.8	3
6	○サポートルームや少人数教室等を利用し、質問教室を実施する。また、夏の教室を開き、基礎学力の定着を図る。	2.5	2.3	2.7
7	○学校の教育目標の具現化を図る組織的な学校運営を確立する。	3	2.8	2.8
8	○教職員の専門性を高める授業実践を伴った校内研修を計画的に行う。	3.1	2.7	2.8
9	○道徳の時間を年間35時間年間指導計画に基づき実践し、生徒の実態に応じた道徳資料の準備や心のノートを利用して涵養的な指導方法の工夫改善を行う。	2.7	2.7	2.6
10	○職業調べ、職場（農業）体験学習、上級学校調べを計画・継続的に行い、進路決定に向け体験入学や進路説明会等を実施する。	3.1	2.8	3.6
11	○月1回の専門委員会及び学級での報告と討議を定着させ、生徒の生徒会活動への参加意識を高める。	2.8	2.8	2.9
12	○人権作品の取り組みを積極的に行い、人権啓発映画や視聴覚教材を活用した人権教育を計画的に行う。	2.7	2.8	3
13	○総合的な学習の時間に於いて、「生徒が生き方を考え、生き方を学ぶ」をテーマに、体験活動や問題解決的な学習を重視した教育活動を行う。	2.9	2.8	3.5
14	○年間を通じて給食を食った教材として、計画的に食に関する指導を行う。	2.7	2.7	2.8
15	○各教科及び総合的な学習の時間等で視聴覚機器を活用した授業を計画的に実施する。	3.1	2.7	3.3
16	○不登校にならない教育活動を推進する。	2.6	2.8	3.3
17	○生徒理解・共通理解・共通実践のための「報告・連絡・相談」「確認」を徹底するとともに家庭とのきめ細かな連携を図る。	2.7	2.9	3.4
18	○挨拶や身なりについての指導を徹底して行う。	3.4	3.1	3.4
19	○特別支援コーディネーターを明確に位置付けた支援体制を整備し、校内委員会の機能的な運営に努めるとともに校内研修会を年度当初1回以上実施する。	未	2.7	3.1
20	○安全点検を月に1回実施し、危険箇所は早急に修理・改善する。	3.2	3	3.6
21	○不審者対応等の校内研修を行うなど、職員の危機管理意識を育み、不審者対応マニュアルの共通理解に努める。	3	2.8	3
22	○掃除監督を行い、清掃指導を徹底して行う。	3.2	2.9	3.2
23	○各学年、男女差や個人差を考える「性に関する学習」を行う。	3	2.7	2.7
24	○外部講師を招聘した避難訓練や3年生を対象とする救急救命講習会を実施する。	3	3	3.7
25	○外部講師を招聘した交通安全・防犯・非行防止・薬物乱用防止等の講演会を実施する。（年間1回）	3.4	3.2	3.5
26	○保護者アンケート、生徒アンケートを元に学校自己評価を作成し、学校関係者による学校評価を実施する。	2.8	2.9	3.5
27	○保護者に周知させ、毎月1日授業公開日を設ける。	2.7	3.1	3.9
28	○ホームページを随時更新し、内容の充実を図る。	2.3	2.6	3
29	○二中だより「盈進」を年間20号発行する。	3.1	3.2	3.5

21年度末にこの学校評価結果については職員会議にて反省・検討を行っています。この結果を参考によりよい学校づくりを心がけていきます。